

# 神道政治連盟愛知県本部総会



神政連愛知県本部服部憲明氏挨拶



小串庁長挨拶



大原康夫氏講演 (1)



大原康夫氏講演 (2)

9月11日、熱田神宮会館にて神道政治連盟愛知県本部総会が県下神職総代342名出席のもと開催された。神宮遥拝、国家斉唱、神政連宣言綱領唱和の後、服部憲明県本部会長より「第2次安倍改造内閣では神政連推薦の有村治子氏、山谷えり子氏、神政連国会議員懇談会からは会長である安倍晋三総理を始めとして16人の方々が入閣されたことは大変喜ばしいことであり、今後のご活躍を期待したい。神政連は11月に設立45周年を迎え、当県においても5月に同様の節目を迎える、次年度の総会に記念式典を執り行いたい。今後も中央の活動に則って我が国の根幹に関わる政策を推進して行く所存でありお力添えを賜りたい」との言葉があった。続いて小串和夫県神社庁長、長宗我部延昭中央本部会長（代理中央内田文博本部幹事長）、参議院議員藤川政人氏ら来賓より挨拶、来賓紹介、祝電披露の後、議事に入り、平成25年度神政連県本部活動概要、会員増強、平成26年度神政連県本部活動方針などについて話し合われた。

その後、國學院大学名誉教授大原康夫氏より「昨今の時局問題を考える」と題した講演があった。氏は「9月3日に発足した第2次安倍内閣はあるべき祖国を取り戻すための内閣と位置づけられる。そのための最大の目標は現憲法の改正であるが、それまでに実現しなければならないのは、皇室典範の改正、領土主権を確立すること、第1次安倍内閣の教育基本法改正に続く教育改革、靖国参拝等の歴史認識問題の解決、祝祭日を伝統に基づいた形で改正すること等、真性の保守政権として祖国を取り戻して欲しい」と語られた。講演終了後、聖寿の万歳をもって会を締めくくった。